

学校教育だより

令和2年 3月 27日 発行
第4号 厚沢部町教育委員会

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

町内小・中学校の卒業児童・生徒、未来に向かって力強く羽ばたく

新型コロナウイルスの影響で、2月27日から休校となっていた町内各小・中学校で、今年度の卒業式が、卒業生とその保護者、そして教職員の参加のもとおこなわれました。

感染拡大防止の観点から、時間や規模を縮小し、簡略化された卒業式となりましたが、卒業生は周囲への感謝の気持ちと今後への決意を胸に、それぞれの学び舎を巣立ちました。



厚中第2回卒業生（男子16名、女子11名）

時間短縮の式でしたが、ハレの日にふさわしい、緊張感を持った生徒の立ち振る舞いと集中力。保護者の方々も、生徒の状況に感動していました。



厚小第132回卒業生（男子11名、女子6名）

給食はほぼ毎日完食等、いっぱい食べて、いっぱい運動。「次、頑張ればいいよ!」「どんまい」等、子ども同士で声をかけあい、何事も最後までやりとげる卒業生です。



館小第112回卒業生（男子3名、女子3名）

明るくて、優しく、頼りになる6人の卒業生でした。

この1年間は、全校児童の中心になって、下級生をまとめ、活躍してくれました。



鶉小第102回卒業生（男子4名、女子2名）

明るくて、元気で、教室ではいつも賑やかです。下級生の面倒見もよく、鶉っ子タイムでの体力づくりでは、全校のお手本となるような頑張りを見せてくれました。